

令和5年度次代を担う若者のライフデザイン講座事業 開催報告書

若い世代が結婚・妊娠・出産・子育て、仕事を含めた将来のライフデザインを、希望をもって描き、様々なライフイベントに柔軟に対応できるよう、その前提となる知識や情報を学び、考える機会として、県内の高校生を対象に講座を開催しました。

	開催日	学年	クラス数	参加人数
三木高校	9/27.28.29	2年生	4	127
桜井高校	10/3.4.6.17.18.20	1年生	7	264
高松高校	10/25.25.11/1.14	1年生	7	268
高瀬高校	2/5	3年生	3	101
合計	14日		21クラス	760人



県内4校、1年生から3年生まで、計760人の高校生が参加しました。結婚や出産をする・しない、子どもを持つ・持たないにかかわらず、多様な生き方があること、そのうえで、結婚・妊娠・出産・子育てに関する正しい知識やライフデザインの重要性を知り、高校生が将来の希望をかなえられるように、各学校の授業形態や時間に応じて授業を展開しました。

助産師会の方から、妊孕力、妊娠・出産について直接話を聞くとともに、昨年同様、国家資格キャリアコンサルタントから、ワークなどを通して人生設計を考える機会を作りました。

日々忙しく、目の前の進路などに目を奪われがちな高校生が、一度立ち止まって、近い将来だけでなく、その先も続く生涯の人生設計を考える貴重な時間となったようです。

【授業を受けて、気付いたことや感じたことなどの自由記述】

- 授業を受ける前は、自分は仕事に夢中になりそうだから子どもはいらないと思っていたが、この授業を通して子どもを育てる時に周りの人に頼ったり、パートナーと相談したりすることで、仕事を頑張りつつ子どもを持つことができるのかもしれない、と考えが変わった。
- ずっと先のことだと思っていたけれど、もう将来のために準備をしなければいけない歳だと思えた。
- 子育ての何が楽しいか「人生を2人分体験してみたい」という言葉が心に残った。将来私は小さい子どもの力になれる仕事がしたいので、講師の方のなさっていることにとっても興味を持った。自分の幸せは自分で作っていきたい。
- 妊娠には時間制限があるということが分かった。このことを踏まえてライフプランを考えていきたい。
- 排卵や月経のサイクル、妊娠についてなど、自分の体のことではあるがきちんと理解できていなかったことに気づいた。自分と相手の心と体を大切にできる性行動ができるようにしたい。

